

国際観光都市松本推進事業

取組に至る背景・事業の目的

当団体は、松本城を中心に松本市内の観光スポットで善意通訳と観光ガイドサービスを行っている。多くの国からの観光客が増える中、英語以外の言語で外国人観光客に松本の魅力や日本文化等を紹介できるガイドの養成を目指すとともに、幅広く市民も受講できる歴史文化講座等を開催し、「おもてなしの心」を広める。

事業内容

- ガイドの多言語化
フランス語、スペイン語、中国語の語学講座を開催し、各言語のガイドの養成を行った。
- ガイドの質の向上
発音クリニックのほか、歴史文化講座及び異文化コミュニケーションをテーマにした講演会を開催した。
- 外国人にやさしい街づくり
市内店舗向け英語メニュー、英語 QA 集、ALSA 紹介カード（ボランティアガイド PR カード）を作成し配布した。



【松本城での案内】

事業効果

- ガイドの多言語化
養成目標を以下のとおり設定。（ ）は平成 30 年度末における養成数
フランス語：5 名（4 名） スペイン語：4 名（4 名） 中国語：6 名（4 名）
- ガイドの質の向上
松本城だけでなく幅広く日本文化の説明ができ、外国人観光客とより良いコミュニケーションがとれるようになった。
- 外国人にやさしい街づくり
・店舗メニュー、英語 QA 集を 46 軒に配付：売上向上、観光客満足度向上
・ALSA 紹介カードの配布：案内者数割合（案内者数/外国人個人入場者数）>10%

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- ALSA 紹介カードについては、ホテル・旅館組合と打ち合わせの上、加盟施設に配布を実施したほか、英語 QA 集の作成においても、多くの商店、飲食店から意見・要望を聞き入れ作成した。
- 多言語化については、十分な体制ではないため、会費の見直しや受講者増に取り組み、研修を継続させる。
- 商店街サポートについては、資金面において行政や公民館活動と連携するなどして、ホテル・旅館・飲食店・商店などへの出前講座やより現場に即した資料作りを継続して実施したい。
- 外国人観光客と接する中で得ている情報や課題を、今後、積極的に情報発信したい。

【選定のポイント】

インバウンド観光への対策が求められる中で、ガイドの多言語化のほか、地域の歴史文化を踏まえたガイドができるような観光案内ボランティアの育成を行った。また、飲食店向けに英語質疑応答集等を作成するなど、「外国人にやさしい街づくり」に取り組んでいる。今後より一層増加するインバウンド需要に備え、行政等と連携し、地域住民自ら国際観光都市の実現に取り組むモデル的活動である。

団体名	NPO 法人 アルプス善意通訳協会 (松本市)	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	副理事長 高山 洋 090-9669-3454	事業費	1,381,702円
ホームページ	http://npo-alsa.com/	支援金額	1,105,000円